

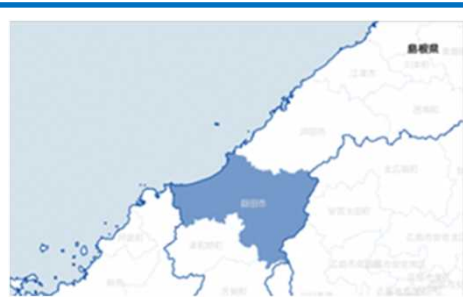
事業名(団体名)一般社団法人益田サイバースmartシティ創造協議会

1

様式1

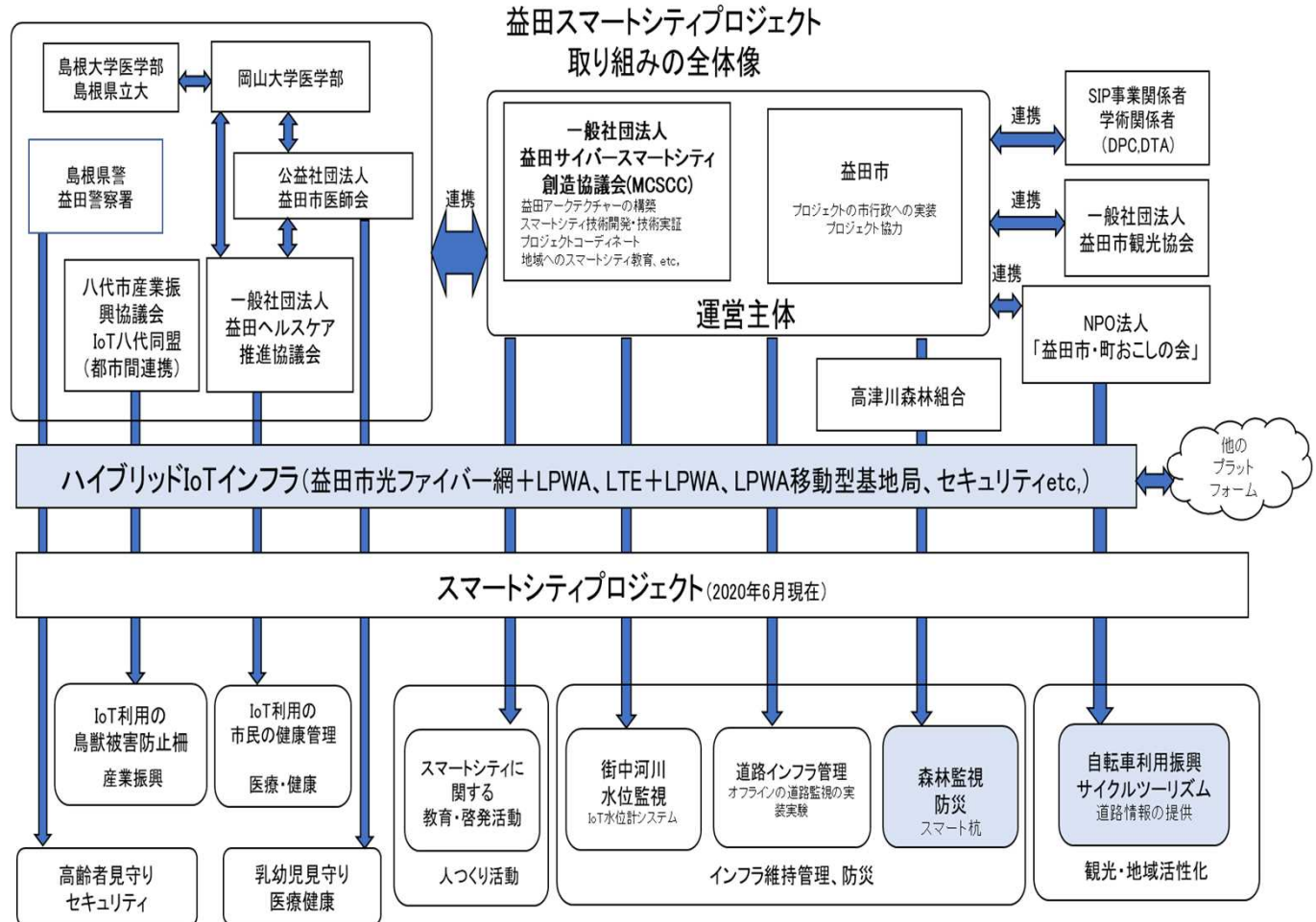
■ 事業のセールスポイント

ハイブリッド型IoT基幹インフラの構築による地方中小都市に最適化したインフラ維持管理、鳥獣被害監視、見守り支援による行政コスト削減の実現と魅力的地域の創出



鳥根県益田市

■ 本事業全体の概要



■ 対象区域の概要

- 鳥根県益田市
- 733.19平方キロメートル
- 45,885人

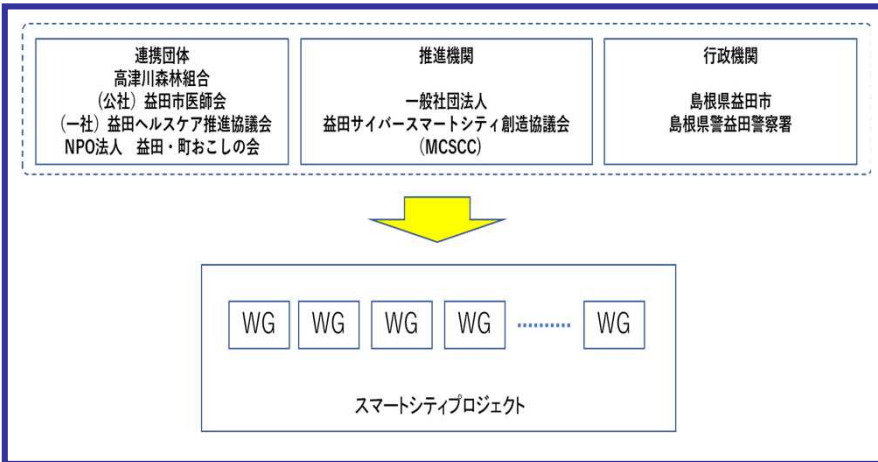
■ 対象区域のビジョン

○ IoTの積極活用によるインフラ維持コスト削減と暮らし向上・雇用創出・人口拡大による魅力的地域の創出

■ スマートシティの目標(KPI)

- ・ハイブリッド型IoT基幹インフラ整備
LPWAルータのカバー率向上(80%以上)
- ・各種インフラデータの標準化対応
- ・用水路の浸水被害の件数削減(ゼロ件)
- ・道路劣化の解析時間の短縮(24時間以内)
- ・インフラ維持管理コスト削減(50%)
- ・行政視点での利便性向上NPS(50%)

■ 運営体制



■ 導入技術

○ハイブリッド型IoTネットワーク

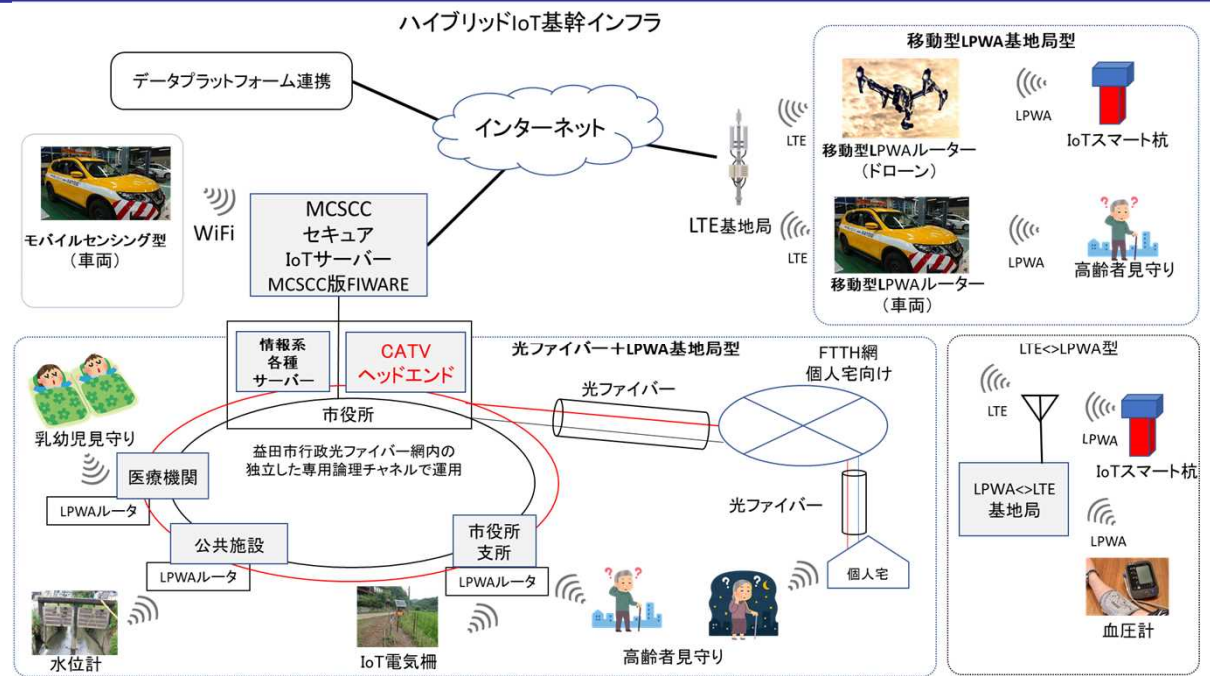
- ・光ファイバ網+LPWA基地局型
 - ・LTE+LPWA基地局型
 - ・移動型LPWA基地局型
 - ・移動型センシング型
- を適用分野ごとに使い分け低コスト運営可能なシステムの構築を目指す

○センシング端末

GPS・加速度センサ付きスマート杭、無線制御付き鳥獣用電気柵、血圧計、GPSトラッカー、水位計など

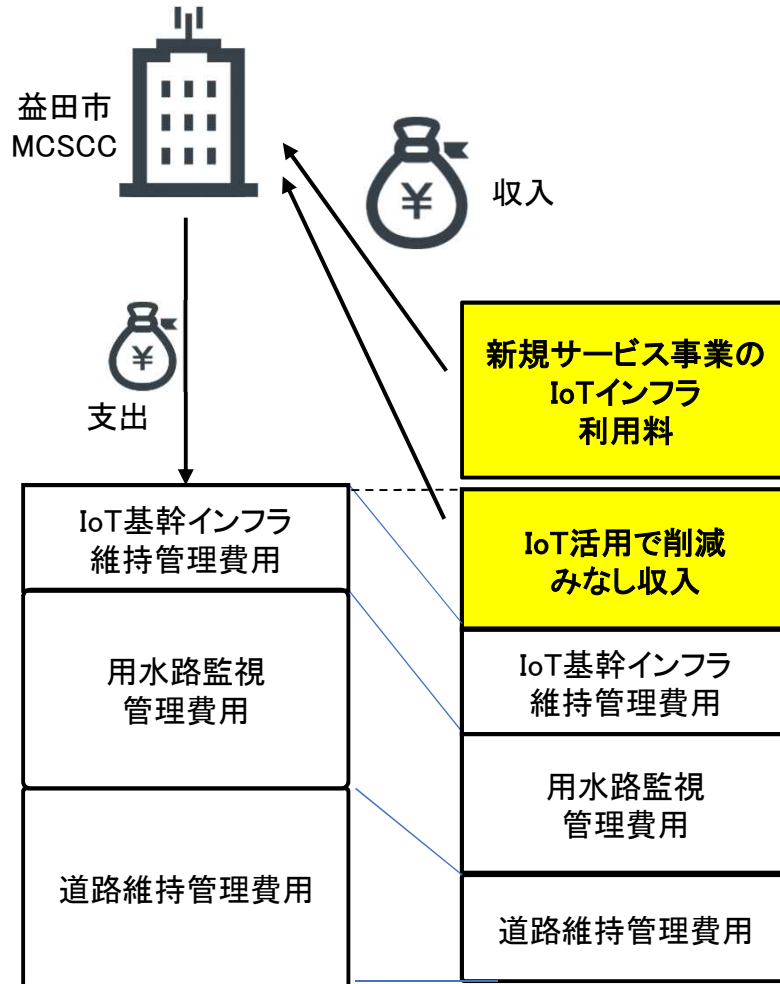
○取得データの効果的な提示

防災用情報提示システム
スマート道路モニタリングで得た道路情報をサイクリングロード情報に提供



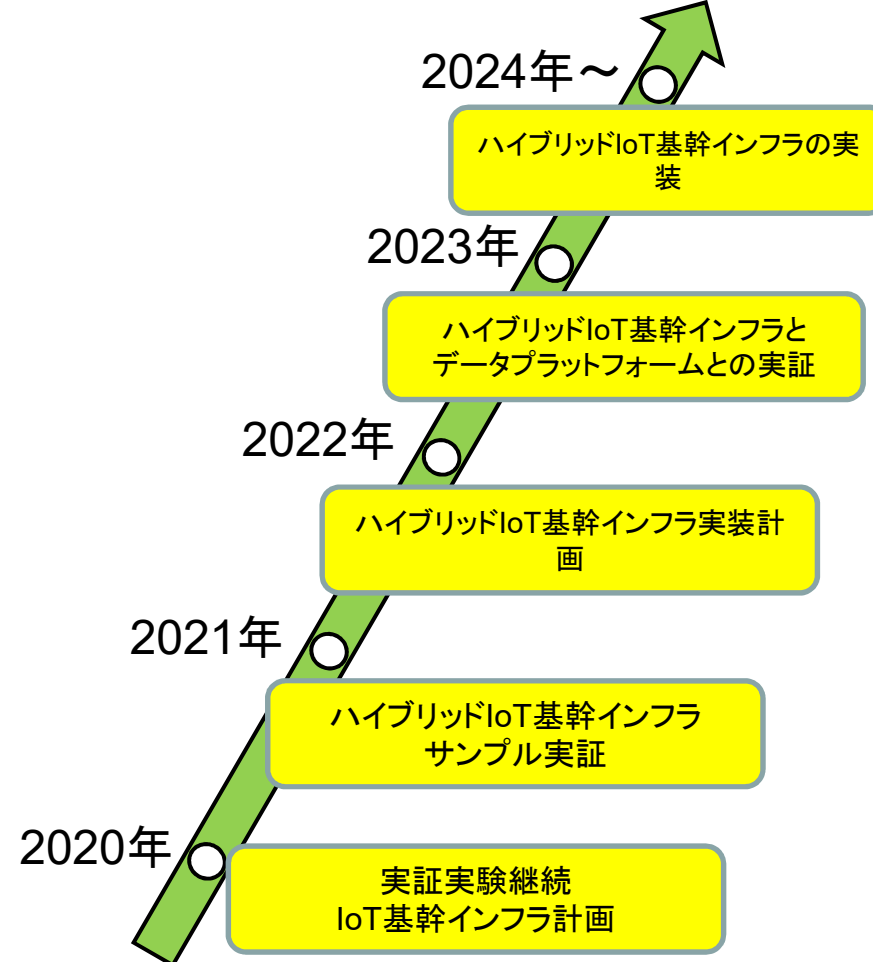
■ ビジネスモデル

・IoT基幹インフラを導入しコスト削減分(みなし収入)で運用コスト捻出。新規サービス事業向けにIoTインフラを提供し収入を得るイメージ。



■ スケジュール

- ・2020年度より本格実装に向けMCSCC,益田市と計画立案開始。2024年度以降の完成を目指す。
- ・2023年度より運用開始を目指す。
- ・2024年度以降は広域プラットフォーム連携。



将来のイメージ図

(ICT利活用からIoT利活用への拡大によるインフラ維持コスト低減さらには魅力的地域の創出へ)

IoT for 防災、見守り

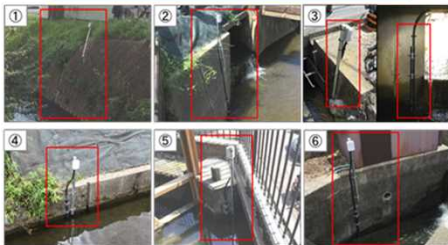


移動型LPWAルーター
(ドローン)

IoT for HOME ヘルスケア、スマートメータ



IoTインフラ監視(用水等)



益田市街地 IoT水位計



IoT電気柵監視(鳥獣被害モニタリング)



益田市内のIoT電気柵

IoTインフラ監視(道路モニタリング)



益田市道路パトロールカー